



# チャレンジ！前へ！Season1



## 前期終業式

### 子供たちを信じて待つことの大切さを感じます

子供たちを真ん中におく教育実践を続けてきて102日間。自主性を磨き、主体性へと昇華させていく小学校段階での実践。那須町教育委員会が目標とする「自立・自律」。何をすれば自立できるのか、何が自律となるのかを考えてきた前期です。子供たちは様々な場面で「もっていた力」を発揮するようになってきました。私たちの使命は子供たちを信じて支援していくことです。私たちが与えていくだけの教育は改善していかなくてはなりません。「皆さんがここまで頑張れたのは、先生方が皆さんを信じて支えていたからですよ」子供たちの日を追って成長していく姿、学びを楽しんでいる姿は、先生方が子供たちに「贈る」通信票に表れています。「子供たちを信じる」これが今の田代友愛小学校を支えている根本です。次期学習指導要領に使用されている「好きを育み、得意を伸ばす」。これが子供たちを成長させる原動力です。現在の課題をすでに実践している本校の先生方。後期も楽しみです。

#### 「前期にがんばったこと」

私が前期に頑張ったことは、算数のたし算とひき算です。最初はよく分からなかったけど、授業や家でたくさん練習したらできるようになりました。できるようになると、もっともっと算数のことを知りたいと思うようになりました。私が後期に頑張りたいことは、書写です。もっと字を丁寧に書けるように頑張りたいです。字を丁寧に書けるようになって、友達に手紙を書きたいなと思っています。小学生になってたくさんできることが増えました。後期はもっともっとできることを増やして、友達と一緒に楽しく過ごしたいです。



私が前期にがんばったことは、算数のわり算です。あまりのあるわり算を頑張りました。また、運動会では「友愛っ子ソーラン」を1・2年生の前で見本になるように踊りました。大きく動いて、キレイに踊れるように頑張りました。生活面では、朝ごはんをしっかり食べることができました。決まった時間に食べられるように気をつけました。後期に頑張りたいことは、新しい計算問題を解けるようにすることです。やり方を説明できるようにしたいです。生活面では、挨拶を元気よく、はっきりと言いたいです。先生に誉められるような挨拶をしたいです。後期は4年生に向けて準備をしていきたいです。委員会やクラブがあるので、4・5・6年生をよく見て行動していきたいです。

僕が前期にがんばったことは、二つあります。まず、一つは陸上です。なぜかというたくさん練習をして本番に挑めたからです。つらいときもあったけど、諦めないで本番に向けて頑張りました。それは地区大会に出なかったからです。だけど、結果は地区大会に行けませんでした。あと一歩届かなくて悔しかったです。来年は地区大会に出られるように、これからの体育や部活などの運動や日常生活などで手を抜かないように頑張りたいです。二つ目は学習です。なぜかという最初はほぼ全部の教科が苦手だったけど、今では勉強が楽しくなりました。特に国語です。理由は毎日の授業や自主学習を頑張って、国語のテストで毎回良い点数を取れるようになって嬉しかったからです。後期は国語だけでなく、他の教科でも良い点数が取れるように頑張りたいです。



話を聞く真剣な表情。この学校を表している一面です。子供たちがしっかりと考え、行動しているからこそです。

学習指導主任からお話がありました。「4月に会ったときの皆さんと違う。どの学年の皆さんも、ちゃんと自分で考えようとしているし、何をするかを自分で選んだり決めたりしていることが大きいと思います。これまでは仕方なく家庭学習をしていたのではありませんか。そうです、学ぶことって楽しいことなんだよ。自主学習を見せに来てくれる皆さんの表情には、学ぶことを楽しいと感じている様子がよく分かります。秋休みも同じように、家庭学習の「自分スタディ」や「探求タイム」をこれからも充実させていきましょう。」



この話の中で、ある児童が起立して自分の考えを全校児童に伝えました。「僕は通信票が楽しみなんです。5年生までは、あまり勉強に対して意欲がわきませんでした。でも今年は違います。学習が楽しいと感じることが多いのです。すると、できるようになることが増え、自主学習も自分で頑張れるようになりました。昨日は自分で苦手な教科を自主学習でやってきました。だから、どんな通信票になっているか楽しみなんです。」

